

経営比較分析表（平成30年度決算）

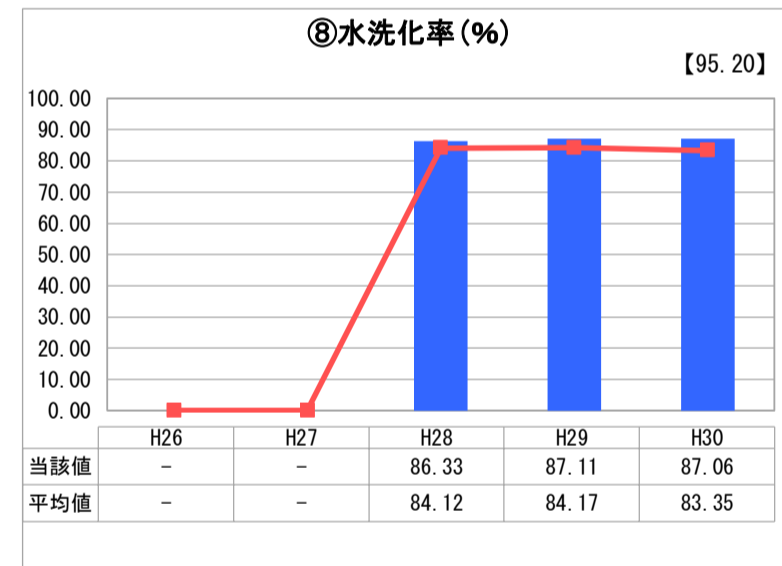
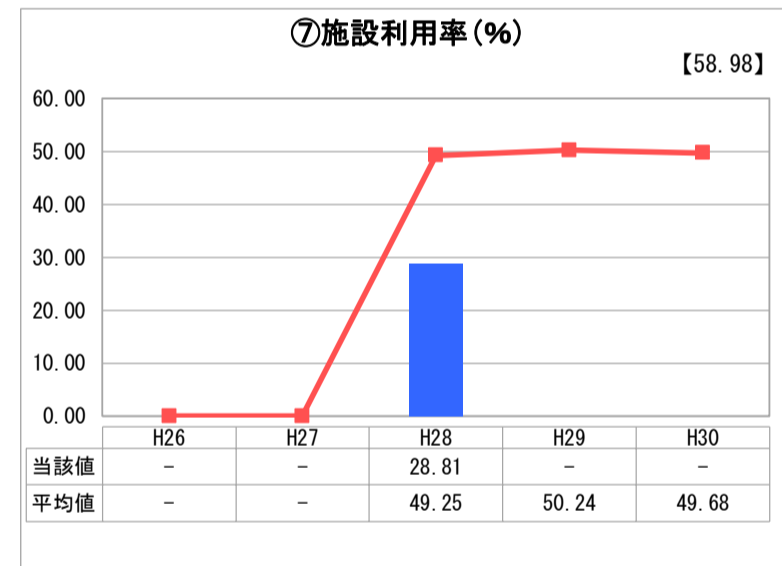
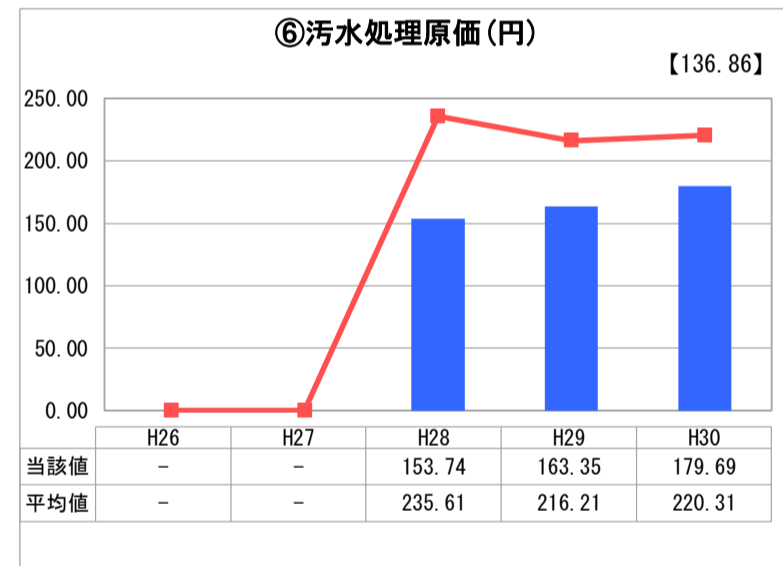
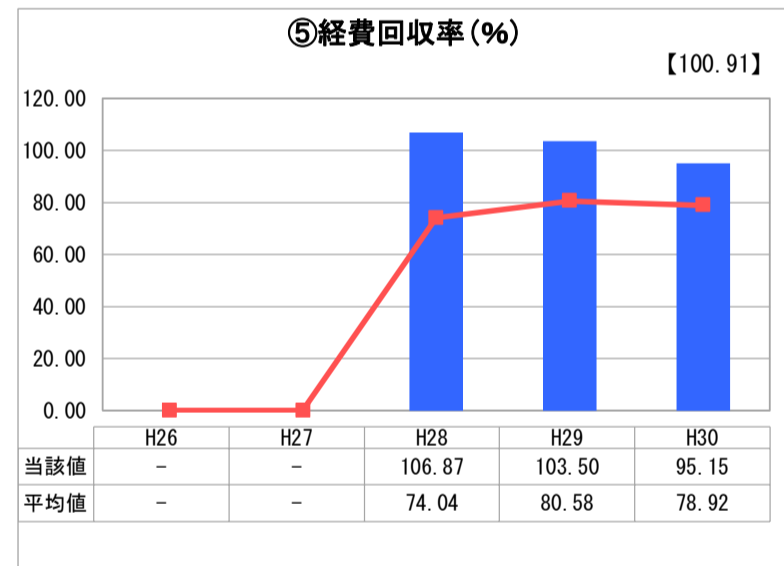
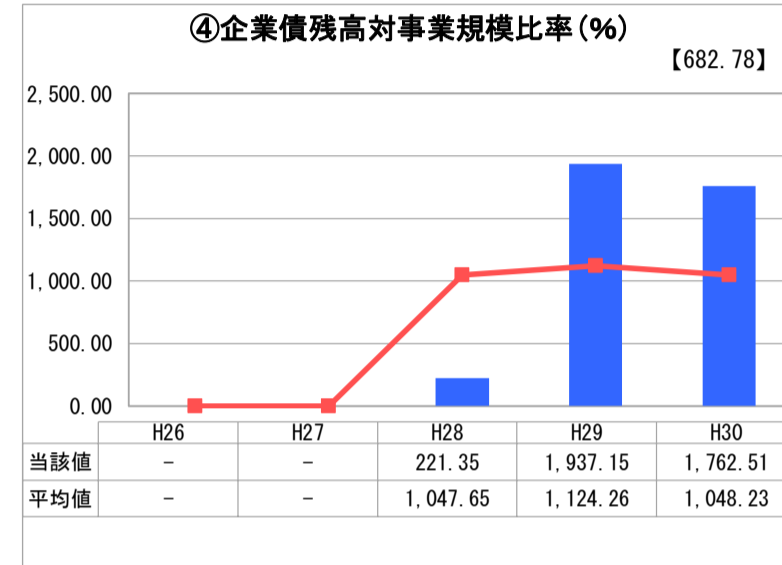
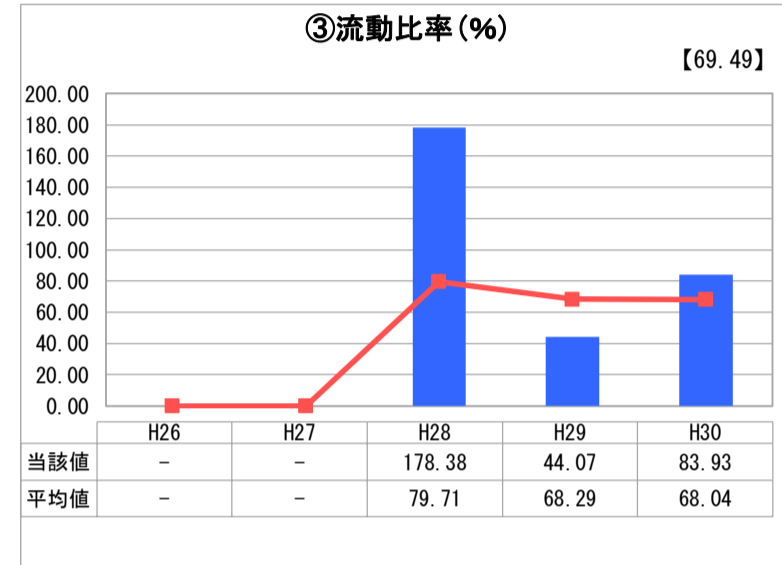
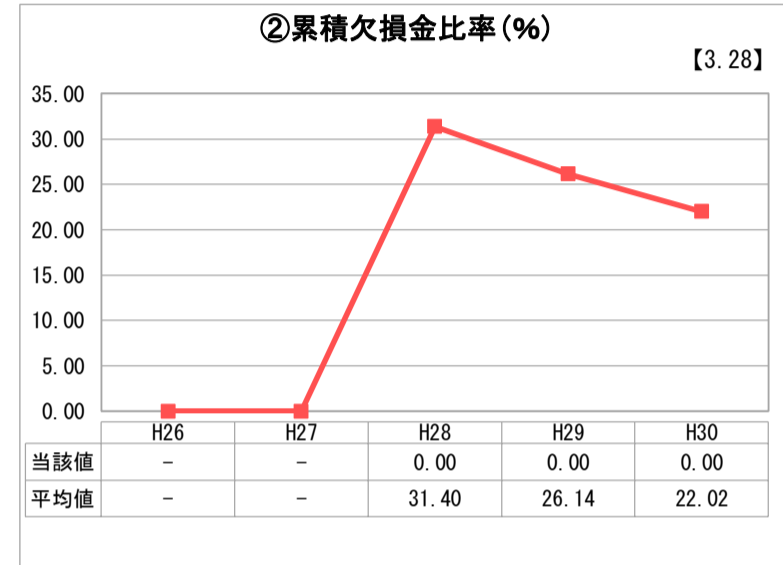
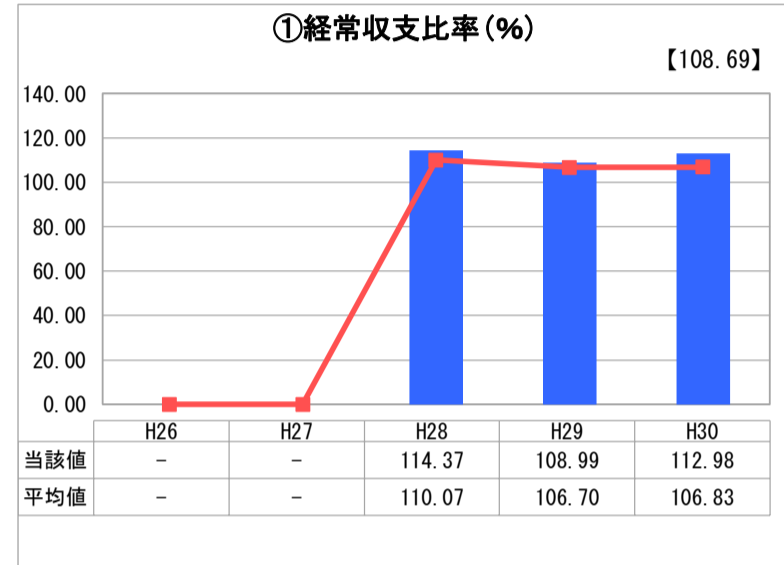
兵庫県 新温泉町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	59.74	31.76	100.00	4,860

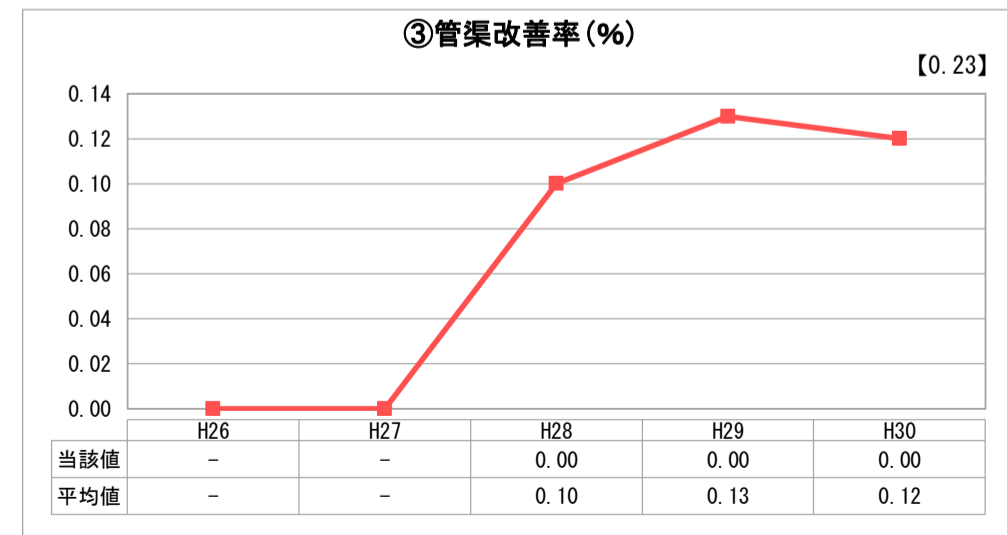
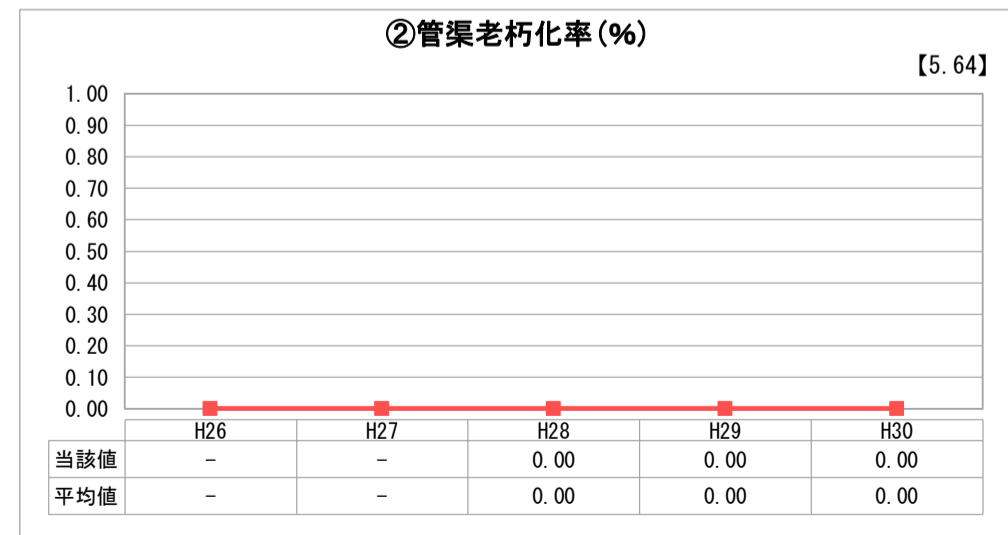
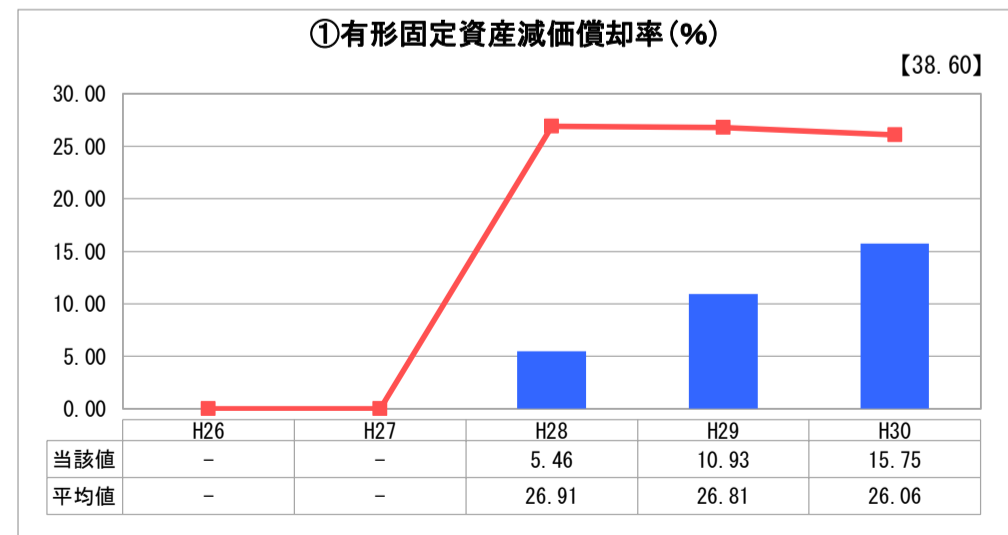
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
14,587	241.01	60.52
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,592	1.90	2,416.84

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

H28年度からの企業会計移行により、H27年度以前数値は表示されておりません。また初年度は移行による経費があるため比較出来ない項目があります。

①経常収支比率、③流動比率、⑧水洗化率は類似団体平均値とほぼ同数値であります。

②当町は累積欠損金が発生しておりません。④企業債残高対事業規模比率は、28年度決算数値は比率計算方法の違いにより比較は出来ませんが、企業償還のピークは過ぎ下降傾向にあります。⑤経費回収率は当該値が100%以下であることは適正な使用料収入の確保及び汚水処理費の削減が必要な状況であります。

⑥汚水処理原価は汚水処理費が抑制されている状況にあります。⑦施設利用率の当該値は27.82であり類似団体平均値と比べ低い状況です。接続率が80.0%で、近年の水の使用量低下及び少子高齢化による使用者の減少等が考えられます。

経営の健全性・効率性を考えるうえで、引き続き経費の節減、接続率向上に向けた検討、施設の統廃合の検討等を進めていきます。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率が類似団体平均値より低いのは、固定資産が比較的新しく、類似団体平均値より法定耐用年数にまだ残りが資産が多いことを示しています。③管渠の更新・改良は、現在ありません。

施設供用開始から19年を経過し、経年劣化による修繕等がでてきています。

機械設備等については、H28年度から公共下水道長寿命化計画により整備を進めており、H30年度で事業終了となります。以後はストックマネジメント計画により、R3年度より計画に沿った事業展開となります。

全体総括

H28年度から整備している、公共下水道長寿命化計画がH30年度で事業終了となり、以後はストックマネジメント計画により、R3年度より計画に沿った事業展開となります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。